

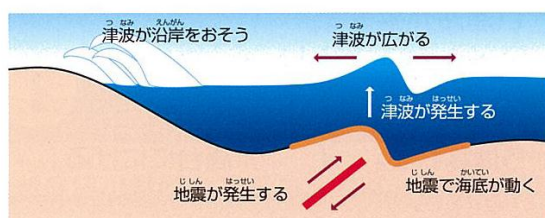
防災だより

平成24年7月発行

第2号

下田市に著しい被害を発生させるおそれがある地震としては、駿河湾及び駿河トラフ付近におけるプレート境界を震源域とする東海地震、遠州灘西部から土佐湾までのプレート境界を震源域とする南海トラフの巨大地震、神奈川県西部を震源とするマグニチュード7クラスの地震などがあります。これらの地震に対して、市では国や県、住民、企業、各関係機関等と情報を共有し、地震や津波と向かい合い、皆様と一緒に防災対策の推進を図ります。

津波がおこるしくみ



津波の発生

地震で海の底が動いて、その上の海水をおし上げます。このおし上げられた水のかたまりが津波となって広がっていきます。

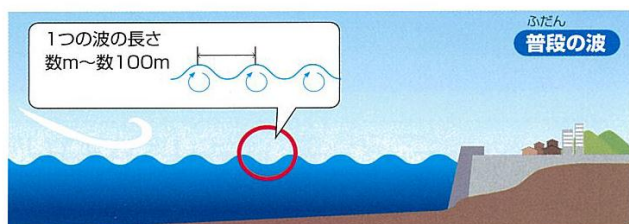
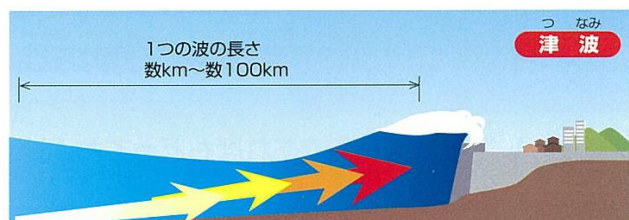
「津波警報」と「津波注意報」

津波警報は、1m をこえる津波が予想されるときに発表します。急いで高いところに避難してください。また、津波警報の発表が間に合わないこともあります。海から近いところで強いゆれを感じたら、すぐに高いところへにげてください。

大津波警報	陸に津波がおしよせて浸水するおそれがあるため、沿岸や川沿いにいる人はすぐに安全な高い場所へ避難する。
津波警報	
津波注意報	海から上がり、海岸には近づかない。海水浴や磯釣りは危険なので行わない。

津波と普段の波のちがい

津波と普段の波とは、発生の仕組みもエネルギーも、まったくちがいます。普段の波は、風によっておきるので、海の表面近くの水だけが動きます。いっぽう津波は海底の地形が変化することによって、海の表面から底までの水がかたまりとなって、沿岸におしよせます。波の長さは数キロメートルから数百キロメートルにもなり、やってきて引いていくまでの時間が長いのも津波のとくちょうです。長くて大きな水のかたまりなので、波の高さが低くても、普段の波にくらべてものすごい力があります。



下田市海拔表示マップを配布します



市では津波対策の一環として「下田市海拔表示マップ」を作成しました。このマップは、市内の海拔26mまでの区域を2m間隔で色分けし、地図に表示しました。広報しもだ8月号と一緒に全戸配布いたします。ぜひ、地震、津波等に備えた避難路の想定など防災用資料として、ご家庭や地域でご活用ください。

下田市災害用避難施設整備事業補助金について

市では「下田市災害用避難施設整備補助金交付要綱」を策定し、自主防災会が行う津波などを想定した避難路等の整備にかかる費用に補助金を交付します。災害が発生したとき頼りになるのは地域住民の助け合いです。普段から地域で話し合い、より安全な避難経路を確認してください。



孤立予想集落の視察について

東海地震等の発生時において、道路などが使えなくなり、孤立することが予想される地区を、静岡県、下田市、自衛隊、警察、消防と一緒に視察しました。臨時ヘリポートの立地の適否を確認し、災害時に人の救助・物資支援などを混乱することなく実施できるよう情報を共有しました。



津波避難訓練について

筑波大学下田臨海実験センターは、東日本大震災を受けて新たに整備した避難路を活用し、津波避難訓練を実施しました。訓練には大学職員や学生、下田市、静岡県、警察、消防、地域住民らが参加し、避難場所（海拔39m）までの避難時間の計測を行いました。勾配のきつい避難路でしたが全員が5分以内で登りきりました。



災害対策用簡易トイレの寄贈について

ネットヨタ静岡(株)から下田市へ災害対策用簡易トイレを寄贈していただきました。今回いただきました災害対策用簡易トイレは広域避難場所に配備し、災害時に有効に活用させていただきます。



◎次号の内容 ※地震災害に学ぶ他

下田市役所市民課防災係 Tel:0558-22-2215

Mail:shimin@city.shimoda.shizuoka.jp